

## 平成 27 年度 中野区立図書館 利用者懇談会報告

### 1. 開催日時および会場

会場館	開催日時	
中央	3月5日(土)	14:00~15:30
本町	3月14日(月)	14:00~15:00
野方	3月7日(月)	11:00~12:00
南台	3月9日(水)	10:00~11:00
鷺宮	3月6日(日)	14:00~15:00
東中野	3月8日(火)	11:00~12:00
江古田	3月11日(金)	11:00~12:00
上高田	3月8日(火)	10:30~11:30

### 2. 出席者

職員：館長、副館長、業務責任者(中央図書館のみ)、業務副責任者、リーダー、サブリーダー(地域図書館)

参加者：中央 4名、本町 2名、野方 3名、南台 4名、鷺宮 1名、東中野 2名、江古田 4名、上高田 3名

### 3. 式次第

- (1) 開会挨拶
- (2) 職員紹介
- (3) 今年度実施事業報告および来年度実施予定事業紹介(参考：中野区立図書館の事業報告書)
- (4) アンケート結果報告(参考：利用者アンケート結果)
- (5) 質疑応答
- (6) 閉会挨拶

4. 懇談内容（質疑応答一覧）

館名	No.	質問 および ご意見	回答 ※()内はその後の対応
中央	1	配布資料にある「配属数」は、ヴィアックス、紀伊國屋書店双方含めた職員数か。また、「司書率 64.4%」というのは、59名（配属数）のうちの割合か。	双方含めた数です。また、司書率については、59名（中央図書館全職員）のうち 64.4% が司書資格を持っているということです。
	2	中央図書館に、園児を連れて来館する保育園、幼稚園はあるのか。	中央図書館で幼稚園の引率はあまり見かけませんが、平日、保育園の先生 2 名、児童 10 名ほどで来館しているのをよく見かけます。お散歩コースに入っていると思われるものもあれば、来館のたびに団体貸出をされることもあります。
	3	ブックディテクションシステム導入の要望を 10 年以上前から上げているが、なかなか実現しない。防犯カメラに抑止力があるというが、実際のところどうなのか。	中野区立図書館は、いわゆる持ち出し禁止装置を全館的には導入していませんが、中央図書館の参考資料室には設置しています。防犯カメラについては、カメラを設置しているという掲示物と併せ、抑止効果はあると考えています。
	4	図書館ホームページでパスワードを入力する際、入力した瞬間に文字が見える状態にしてほしい。キーボード設定が変更されていると、入力しているつもりで文字が入力されていないことがあるため。	システム改修が必要なものである場合、関係各所との調整が必要となりますので、いただいたご意見は持ち帰ったうえで検討させていただきます。
	5	（上記の意見を受け、他の参加者より）パスワードの可視化には反対する。	
	6	あえてインターネットを利用しない層へも対応して欲しい。	リクエスト用紙でのリクエスト受付等、インターネットを利用されない方々に対しては、これまで通り対応させていただいています。

館名	No.	質 問 および ご 意 見	回 答 ※()内はその後の対応
中央	7	資料費等、指定管理料の予算配分はあらかじめ決まっているのか。	指定管理料の予算配分はあらかじめ決まっております。資料費については、資料購入にのみ使われ、各年度で予算を全執行し、資料の充実を図っています。
	8	職員が安定した収入を得て家庭を築けるようにならないと、よい図書館になっていかないと思う。公契約条例等があるが、社会保険への加入等、職員の待遇を伺いたい。	フルタイム勤務の常勤職員は、社会保険加入のうえで勤務していただいています。ご家庭の事情によりパートタイムを希望される方もいるため、すべての方が図書館勤務の収入で生活することを望んでいるとは思われませんが、最低賃金等、関係法令を遵守し運営しています。
	9	平成26年12月に図書館システムリプレイスが行われたにもかかわらず、近々ホームページをリニューアルの予定とはどういうことか。リニューアルの眼目は何か。	一昨年12月にホームページを改修した際、修正しきれなかった箇所があり、その部分の変更を行いながら、レイアウト変更等を行うことにより、より使いやすいホームページを目指しています。指定管理者のなかでできる範囲の改修を行う予定です。 先ほどの可視化などはプログラムの問題になりますが、ホームページの表し方、掲載している文章や文言などについてしっかりと精査し、新しいホームページとしてお披露目したいと考えています。
	10	現行のホームページでは、企画事業が目立たない。トップページのしかるべき場所に表示させるべき。	大きな行事に関してはトップページ上部のバナーでも広報しています。 現在、ホームページに関して様々なご意見をいただいているため、それらが反映されたものとなるよう鋭意努力してまいります。
	11	ホームページで和暦と西暦が混在しているのをどちらかに統一すべき。	年度で行っている事業もあり、和暦、西暦のどちらかに統一するというのは難しい部分があるため、併記といったかたちで混乱が生じないような表記にしていきたいと考えています。

館名	No.	質 問 および ご 意 見	回 答 ※()内はその後の対応
中央	1 2	<p>「新しい中野をつくる 10 か年計画」のなかで、図書館の専門性を高めるといっているが、「特色ある図書館」と「専門性のある図書館」の違いを教えてください。各館に専門性を持たせると言うが、中央図書館よりも地域図書館に行ったほうがよいということになるのか。どの程度の蔵書数であれば「専門性を持つ」と言えるのか。現状の「特色ある図書館」程度では、そのテーマを持つ地域図書館に行くよりも中央図書館に行ったほうがよいと思ってしまう。中野区の方角性は利用者にとって喜ばしいものなのか。</p>	<p>現状、特に都内の図書館については、収容能力に限りがあるなか、分担収集という考えのもと、効率的に蔵書構築を図っています。</p> <p>中野区立図書館では、分担収集とまではいかないまでも、個性づくり展示というかたちで特定テーマの棚を作り、そのテーマに沿った資料の収集を行っています。複数冊の関連資料を探したい場合には、そのテーマの棚を持つ館に行くことで、より効率的に資料を探すことも可能です。しかしながら、メールカーによる物流の仕組みが出来上がっていますので、お住いの近くやご都合のよい図書館でも十分にご利用いただけるものと考えています。</p> <p>現在、地域図書館の蔵書規模は5～7万点です。新図書館はその倍の規模となる計画が立てられているようですので、その規模であれば専門性を持ちながら一般の方々が求める資料を持つこともできるのではないかと思います。</p> <p>蔵書数は多ければ多いほど選択肢は広がりますが、収容能力に限りがあるなかでは、確かな目による選書が重要となってくるのではないかと思います。区が策定する計画のなかで、指定管理者としてできることを最大限実施していきたいと考えています。</p>
	1 3	<p>中央図書館以外の図書館に専門性を持たせるなどピンとこない。意味はあるのか。むしろ各館に幅広い図書を置くべきではないか。</p>	<p>分担収集という観点から、特定分野の資料を集中させることは、蔵書バランスを考えたとしても悪いことではないと思っています。これは特定分野に限った資料しか所蔵しないということではなく、一般的な資料を多く持つなかで、中野区では各館で特定テーマの棚を持ち、また、分担収集という観点から、効率的に収集を行っているということでもあります。</p>
	1 4	<p>11月からの5か月の休館を機に、これまで図書館に縁のなかったような方へアウトリーチ活動を図ってほしい。</p>	<p>いただいたご意見は今後の参考とさせていただきます。</p>

館名	No.	質 問 および ご 意 見	回 答 ※()内はその後の対応
中央	1 5	11月から改修工事を行うとのことだが、図書館のエントランスを明るく綺麗にしてほしい。	このたびの改修工事は図書館の改装工事ではないため、いただいたご意見は今後の参考とさせていただきます。
	1 6	本とつながりのある企画が多く、とても良いと思う。	いただいたご意見は今後の参考とさせていただきます。
	1 7	中野区役所の職員が出席していないのはおかしい。教育委員会の職員も出席してしかるべきである。	本日はご参加いただいております。頂戴したご意見は所管部署に伝えさせていただきます。
	1 8	利用者懇談会の広報が不足しているのではないか。また、本町図書館と東中野図書館の統合計画についても周知が不足している。	いただいたご意見は今後の参考とさせていただきます。 (利用者懇談会の広報については、昨年度より周知期間を1か月とし、全館での館内掲示および図書館ホームページへの掲載を行いました。周知方法については、引き続き検討していきます。本町図書館と東中野図書館の統合計画の広報については、所管部署に申し伝えました。)
本町	1	企画事業「ニコニコお絵かきッ子」の絵はどこに飾ってあったのか。	1回目、2回目は児童室の中で天井から吊り下げたり、壁面に設置したすだれに貼り付けたりしていました。クリスマス時には児童のお知らせが貼ってあるコーナーにクリスマスツリーの形の大きな台紙を用意して、そちらに貼り付けていました。現在、1回目、2回目のイラストの縮小版を芸術関連として7類に降りていく階段の壁面に掲示しています。
	2	中央図書館で「くらやみおはなし会」というイベントを実施しているが、本町では実施しないのか。	おばけなどが出てくるおはなし会は8月の夏の子ども会で実施しています。しかし、本町図書館のおはなし会参加者は未就学児が多く、部屋を暗くすると怖がってしまうこともあり、「くらやみおはなし会」に類するおはなし会は実施していません。
	3	教科書は図書館に所蔵しているのか。	中央図書館の閉架に1冊ずつ所蔵しています。

館名	No.	質 問 および ご 意 見	回 答 ※()内はその後の対応
本町	4	なぜ地域図書館で教科書を所蔵していないのか。教科書が見られると授業の進行度などがわかるので置いてほしい。	地域図書館で所蔵していない理由については確認します。また、置いてほしいということに関してはご意見として承ります。 (後日、中央図書館児童担当に確認したところ、「教科書は購入しているものではなく、教育委員会から寄贈された1セットを受け入れている。閉架資料ではあるが貸出は可能なので、予約をしていただければ地域図書館で借りることができる。利用回数も少ないので、1冊のみの受入としている。」とのことであった。)
	5	利用者アンケートにもあったが、旅行ガイドが古い。古いガイドを見ても参考にならないことが多いので、新しいものを置いてほしい。	新しいものも受け入れてはいますが、ほとんどの場合予約で回ってしまい、図書館に戻って来ていないのが現状です。ただし、要望は多く上がっているため、来年度以降検討します。
	6	児童室に積んである資料は借りてもよいのか。小学校など団体に貸し出すために別置してある資料なのか。	返却された本を仮置きしているだけなので、貸出は可能です。
	7	次の休みを分かりやすく掲示してほしい。	そういった要望が以前にもあったため、現在は3か月分のお休みを記載したお知らせを館内に掲示しています。
	8	(前項の回答を受け) 掲示場所が目立たない。もっと目立つところに掲示してほしい。	検討します。 (目立つ場所に掲示してはいるものの他の掲示物に紛れてしまうため、掲示場所を増やすこととしました。)
	9	廃棄図書について、廃棄する基準を教えてください。古くなったら除籍するのか。また、貸出回数は基準に入っているのか。	受入の年数や貸出回数も基準の一つですが、それだけではありません。類似図書の有無なども確認し、除籍基準に則って除籍をしています。また、除籍は一人で判断しているのではなく、本町において除籍検討を行い、中央図書館の担当に確認してもらった上で除籍しています。

館名	No.	質 問 および ご 意 見	回 答 ※()内はその後の対応
本町	1 0	閉架図書になるのは、どのような場合か。絶版になってしまった本に出会えると嬉しいので、出来るだけ古い本も残してほしい。	利用は少ないが、所蔵されるべき資料などが閉架図書となっています。図書館としてもスペースに限りがあるので、資料を精査し取捨選択をしています。
	1 1	リライトカードについて、図書館からの報告では肯定的な意見しか聞かないが、自分の周りでは否定的な意見を言っている人も多い。書名が記載されているので、落とした時が怖い。利用者カードについて、もっと選択肢があってもいいのではないか。	リライトカードの他に、フェリカ対応のパスモ・スイカ・携帯電話等も利用者カードとして利用可能で、カード作成時にご案内しています。また、リライトカードでも、希望があれば印字なしで対応しています。
	1 2	イベントを通じて利用が増えているとのことだが、利用が増えている図書館が無くなるのは困る。特にこの図書館は建物や雰囲気にも愛着を持っている人が多いので、地元の声を聞いてほしい。	いただいたご意見は所管部署に伝えさせていただきます。
	1 3	リライトカードについて。カードに返却日などが印字されるが字が小さくて読みにくい。書名も途中までしか入らないので分からないものがある。また、有効期限も分かりにくい。レシートの方が見やすかった。	いただいたご意見は今後の参考とさせていただきます。

館名	No.	質 問 および ご 意 見	回 答 ※()内はその後の対応
野方	1	平成28年度実施予定の企画事業は「のまりんの紙芝居」「人形劇」以外にあるか。	「お楽しみ袋」を年3回(7月・12月・3月)、また、「ビブリオバトル」を実施する予定です。
	2	定例おはなし会やこども会は、基本的にボランティア団体が行っているのか。	定例おはなし会は、第2土曜日に野方朗読の会、第3土曜日に大和朗読の会が行っており、今年度のこども会は大和朗読の会に1回お手伝いいただいた以外、図書館員が行いました。
	3	ビブリオバトルの対象者を伺いたい。	中学生以上になります。近隣の中学校でも毎年ビブリオバトルを行っているようなので、学校に参加の呼びかけをしたいと思います。また来年度のテーマは何が良いか、利用者にアンケートを取りたいと考えています。
	4	(前項の回答を受け) 中学校のビブリオバトルは一般の観戦も可能なのか。	一般の観戦が可能か、図書館指導員の方や校長先生に確認したいと思います。(確認したところ、学校行事の一環であるため、保護者のみ観覧可能とのことでした。)
南台	1	児童行事の「おたのしみ袋」は幼児を対象にしたものだけ用意しているのか。	幼児だけではなく、乳幼児や小学校の低学年から高学年までを対象にしたものを用意しています。来年度は中高生を対象としたおたのしみ袋についても検討しています。
	2	スペシャルおはなし会で使用するエプロンシアターなどは所蔵している資料か。	所蔵している資料を使用することもあります。その時期にあった資料を他館より取り寄せて行うこともあります。エプロンシアター自体の貸出はできませんが、同じ内容の資料の貸出を行っています。
	3	個性づくりコーナーの評価はどうか。	テーマごとに評価は異なっています。ただし、展示スペースや掲示に工夫をしたことにより、資料の貸出件数は増えています。



館名	No.	質 問 および ご 意 見	回 答 ※()内はその後の対応
南台	4	児童実施事業の「まちたんけん」「図書館見学」「子ども一日図書館員」について説明してほしい。	<p>「まちたんけん」は学校の授業の一環で、図書館の所蔵冊数や人気の本などについて図書館員に質問するために、生徒数名と引率教諭が来館されます。</p> <p>「図書館見学」は学校からの依頼を受け、来館された生徒と引率教諭を職員が案内して館内を見学していただき、合わせて図書館の使い方も説明するものです。</p> <p>「子ども一日図書館員」は小学生対象の企画事業で、事前申し込み制で参加していただき、図書館業務の一部を体験していただきます。</p>
鷺宮	1	貸出人数は増えているか。	鷺宮図書館は現状維持というところです。
	2	宅配サービスの人数は変わらないか。どのような人が利用しているのか。	人数はほぼ変わりません。お身体が不自由な方や高齢で来館が困難な方が利用されています。
	3	貸出冊数が増えたが、来館者の1回あたりの貸出数は増えているか。	特にお子さんの本を借りて行くお母さんは限度一杯に借りる方が多いので増えています。全体的にも貸出件数は増加傾向にあります。
	4	「子育て応援講座」は毎年開催しているのか。講師を依頼するのか。	鷺宮の「個性づくり」テーマは子育て・教育で、年6回テーマ展示をしています。前の年に好評だったテーマを取り上げて翌年の「子育て応援講座」を企画し、講師をお呼びして実施しています。今年度は第28回パスファインダーの「わが子の能力を伸ばそう！」の関心が高かったので、来年度は宝仙こども大学の助教に講師をお願いして、「早期教育」をテーマに、年明けの2月に開催します。
	5	ぬいぐるみおとまり会は、写真を渡すのか。	お預かりしたぬいぐるみ達が閉館後の図書館を冒険しているシーンの写真を何枚か撮って、その写真を使って「おとまり証明書」を作成し、お渡ししています。

館名	No.	質 問 および ご 意 見	回 答 ※()内はその後の対応
鷺宮	6	第2回鷺宮講座とは、講演会か。	<p>鷺宮のお寺、福蔵院のご住職にお話しいただきました。</p> <p>鷺宮の昔の写真約360枚で「鷺宮アーカイブファイル」を作成したのですが、その「福蔵院編」を今年度作りました。福蔵院で昭和32年に本堂建て替えをした際の写真を大量に所蔵してしまっていて、前住職が鷺宮の文化などを残していこうというお考えの方だったので、落慶記念の行事で古い風俗や地域の演芸大会などを写真で残していました。それらの写真200枚程をデータに取り込んでアーカイブファイルを作成しました。</p> <p>その写真をスクリーンに映しながら、昔の鷺宮の話や本堂建て替えの話などをご住職にお話しいただきました。</p>
	7	本の福袋は何セットぐらい準備したのか。テーマはあるのか。	<p>一般用19袋、児童用31袋の、合計50袋用意しました。昨年に続いて2回目ですが、開始から3日間で全て貸し出しました。今年は本を入れる袋を紅白の「福袋」にしました。見た目も華やかになり、あっという間に全て貸出中となりました。最初の年はクラフトの袋を使いましたが、その時は全て貸し出されるまでに少し時間が掛かりました。</p> <p>鷺宮図書館の福袋は、全体のテーマ設定はせずに、ひとつひとつの袋にテーマを書いた紙を貼って作っています。そのテーマに沿っていろいろなジャンルの本、例えば小説と実用書と一般教養的な本、といった形で本を集めるようにしています。</p>
	8	講演会「ペットとの防災を考えよう」はどのような内容だったのか。	<p>今年で東日本大震災から5年になります。今や15歳以下の子どもの数よりペットの数の方が多いと言われており、ペット防災は今後社会的な課題になると思われます。東日本大震災でも、ペットが置き去りになったり、避難所にペットが入れないためにペットと共に車の中で過ごすといったようなことがあり、ペットの問題というだけでなく、飼い主の心身の健康の問題でもありました。そうしたことを受け、今や様々な自治体で防災計画にペット避難が盛り込まれるようになってきています。大島の噴火災害の時から動物救援活動をされている方に講師をお願いし、過去の災害時の動物救援や、日頃から飼主が気を付けるべきことや心構えについてお話しいただきました。</p>

館名	No.	質 問 および ご 意 見	回 答 ※()内はその後の対応
鷺宮	9	企画事業は年に何回実施するという計画はあるのか。	基本的に、鷺宮図書館の企画事業は年5回を予定しています。子育て応援講座、鷺宮講座、ぬいぐるみお泊り会、本の福袋、残る1回については、今年は講演会でしたが、来年は落語会を計画しています。アーカイブファイルは常に追加して行こうと思っています。
	10	乳幼児向けと特別おはなし会にボランティアグループは関わっているか。	乳幼児向けおはなし会はスタッフのみで行っています。特別おはなし会は、今年度から4回ともボランティアさんに加わっていただくようになりました。
	11	絵本講座は鷺宮児童館で行うのか。職員が出向くのか。	鷺宮児童館に職員が出向いて行きます。まだ字が読めない赤ちゃんに、「赤ちゃんには本は読んであげなくてもいいんだよ」ではなく、「生まれた時から赤ちゃん向けの絵本を読んであげましょう」というお話を、お母さん向けにします。図書館利用案内や赤ちゃん向けのブックリストも配っています。そこで登録もできますし、図書館のおはなし会のスケジュールのご案内等もしています。
	12	よくばり通信は職員が作っているのか。	職員が作り、主に小学校や児童館に配っています。
	13	図書館見学会は学校から依頼を受けて行うのか。また、ブックトークについても同様か。	学校から依頼を受けて行います。 ブックトークについては、今年度は鷺宮小学校と西中野小学校と武蔵台小学校に伺いました。若宮小学校からも依頼はあったのですが、日程の都合で今年度は伺えませんでした。
	14	職場体験には宝仙学園の生徒が参加したのか。	宝仙学園中学校の生徒が参加されました。
	15	高校生の職場体験は、学校から申し込みがあるのか。	「奉仕体験」という形で都立高校の生徒が直接申し込んできます。中学生の職場体験と同じように2日行います。今年度は夏休みの時期に、2校の学校の生徒がそれぞれ1人ずつ来館しました。なお、「この日程で体験しました」という報告書を学校に提出するようです。

館名	No.	質 問 および ご 意 見	回 答 ※()内はその後の対応
鷺宮	16	ブックトークの時も、利用者登録の申し込みは受けているのか。	ブックトークの時は、図書館の使い方の案内はしますが、その場で利用者登録の申し込みを受けることはありません。図書館見学会の時は、「登録していない子は登録しましょう」ということで、登録申込書を事前先生にお渡ししています。
東中野	1	次年度の企画事業について、具体的に知りたい。	ご好評いただいているため、今年度の内容を踏襲した企画事業を実施する予定です。具体的な内容については、参加者からの意見・要望を踏まえて計画していこうと考えています。次年度以降になるかと思われませんが、事業によっては参加者層が分かれるものもあるため、ターゲットを絞って回数を分けることで、参加者層に合わせた内容の事業を実施することも考えています。
	2	東中野図書館職員の研修の計画について教えてほしい。	指定管理者が実施している研修や、外部での研修があり、個別に参加しています。また、月に1度館内研修として、職員全体での研修を実施しています。職員の研修に関しては、年間計画を立てて実施しています。
	3	東中野図書館が統合されると聞いたが、詳しく教えてほしい。また、結果が覆る可能性はないのか。	時期は未確定ですが、中野区の「新しい中野をつくる10か年計画(第3次)(改定素案)」によると、東中野図書館と本町図書館が統合し、中野区立第十中学校跡地にできる教育複合施設へ移転するとあります。結果が覆る可能性については、指定管理者はこの計画に携わっていないため分かりかねます。「新しい中野をつくる10か年計画(第3次)(改定素案)」やパブリックコメントは館内に設置していますが、図書館の統合・移転に関する詳しい情報は中野区政策室企画分野へ直接お問い合わせください。
	4	懇談会の式次第や要点をまとめたペーパー等の配布物はないのか。あわせて図書館独自の作成物や図書館報などがあれば配布した方がよい。	ご意見として承り、今後の参考とさせていただきます。
江古田	1	展示は年間で何回くらい行うのか。	ガラスケース展示と特集展示は月替わりなので12回、トピックスコーナーは概ね月2回実施しているため約24回行いました。

館名	No.	質 問 および ご 意 見	回 答 ※()内はその後の対応
江古田	2	アンケート報告で蔵書に対しての不満の解決策のひとつとして、見せ方の工夫をしていきたいとあるが、どのようにしていきたいのか。	書架スペースにおいて表紙を見せて展示することを考えています。表紙を見せると貸出に繋がることが分かっています。特集コーナーには最近出版された本を展示するようにしています。来年度の検討課題とさせていただきます。
	3	夏休みおたすけ隊は2年連続での参加はあったか。	「科学遊び」と「POPをかこう」では2年連続での参加が見受けられました。
上高田	1	上高田児童館で行われている「出張図書館」について、詳しく教えてほしい。	「荷物が多く、また、子どもを連れているため、ゆっくりと図書を選ぶ時間がない。」という声が、乳幼児を連れた図書館利用者より多く寄せられました。そこで、上高田図書館児童室と上高田児童館が扉1枚で仕切られた施設であることを活かし、近隣の乳幼児連れ親子が参加される上高田児童館主催「どろんこタイム」の開催時、図書館職員がその場へ行き、資料の提供、新規登録などの図書館サービスを実施しています。 「出張図書館」では、毎週9～10組の親子が絵本、育児図書、わらべ歌や童謡の視聴覚資料等を利用されています。参加者へ、上高田図書館で行っている0～3歳向け「小さい子向けおはなし会」や上高田図書館の各イベントのご案内を行い、図書館の利用を促しています。
	2	上高田図書館を利用している年齢層を教えてください。	上高田図書館は、住宅地に立地しており、利用者層は近隣住民の方が多くを占めています。平日は、ご高齢の方を中心に、週末は、家族連れの方が多くご来館されています。1階児童室は午後5時に閉室するため、今年度秋より、1階にある児童書を2階一般書架に移し、午後5時以降、家族で来館した児童への提供を試みたところ、大変好評をいただいております。
	3	「松が丘シニアプラザおはなし会」で読み聞かせを行っているという説明がありましたが、どのような内容ですか。	エプロンを舞台に見立て、ポケットから人形を取り出して演じる「エプロンシアター」や、唱歌「ふるさと」のリズムにあわせて行う簡単な体操、紙芝居など、参加者が視覚・聴覚で楽しめるおはなし会を実施しました。

館名	No.	質 問 および ご 意 見	回 答 ※()内はその後の対応
上高田	4	上高田図書館の展示コーナーは、各所に設けられていますが、全て上高田図書館所蔵の資料ですか。	全て上高田図書館所蔵の資料です。広い書架の中には、様々なジャンルの資料があり、利用者の目に触れるよう展示に努めています。展示コーナー以外のカウンター周りにも展示スペースを設けています。ぜひ、ご覧ください。